

過去の診療情報を利用した臨床研究について

2016年12月1日

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

【対象となる方】

2010年1月～2016年12月にSVR(C型肝炎に対して抗ウイルス療法を施行し、投与終了し24週間経過後も持続的にC型肝炎ウイルスが陰性化している状態)後肝臓癌に対して虎の門病院あるいは虎の門病院分院に入院され治療を受けた方

目標症例数：220例(本院100例、分院120例)

【研究課題名】

C型慢性肝疾患のSVR(持続的ウイルス陰性化)後肝臓癌に対する臨床病理学的検討

【単独・多施設】

虎の門病院と虎の門病院分院の多施設研究

【主任研究者】

虎の門病院 肝臓内科 藤山俊一郎

【当院研究責任者】

虎の門病院 肝臓内科 齋藤 聡

【研究の目的】

SVR(持続的ウイルス陰性化)が達成されると炎症の鎮静化が得られ肝臓癌の発症リスクは有意に低下するとされている。しかし近年、SVR達成後に肝臓癌を発症した報告が増加しており、SVR後も定期的な画像検査を継続することが重要であります。そこでどのようにSVR後の定期画像検査を行うかについてレトロスペクティブ(過去の診療情報を調査する研究)に検討します。

【利用するカルテ情報】

診断名、年齢、性別、身長、体重、既往歴、血液検査、画像検査、病理検査、治療経過など

【研究期間】

2017年2月9日～2018年12月

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は研究終了後5年間保存いたします。保管期間終了後は特定機密文書として廃棄します。

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

希望される方には個人情報、知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【問合せ先】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、または御自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記までお問い合わせください。

ご自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成29年6月30日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 肝臓内科 齋藤 聡、池田健次、荒瀬康司、鈴木義之、川村祐介
電話 03-3588-1111(代)

虎の門病院分院 肝臓内科 齋藤 聡、熊田博光、鈴木文孝、小林正宏、芥田憲夫
保坂哲也、瀬崎ひとみ、藤山俊一郎

電話 044-877-5111(代)